

令和4年度事業

救 急 自 動 車

仕 様 書

富士山南東消防本部

《目次》

第1 総則	2
第2 主要諸元	4
第3 艀装及び装備品、取付品	4
第4 消防専用電話装置・AVM（車両動態管理端末装置関係）	9
第5 塗装等	9
第6 補足	10
別表1	11
別表2	13

総則

- 1 本仕様書は、令和4年度に富士山南東消防本部（以下「本部」という。）が製作する高規格救急自動車（以下「救急車」という。）の艤装及び装備品、その他関係事項について定める。
- 2 救急車は本仕様書のほか、緊急消防援助隊設備整備費補助金交付要綱（平成18年4月1日消防消第49号）に規定する災害対応特殊救急自動車に定める規格と同等であり、道路運送車両法（昭和26年法律第185号）、道路運送車両の保安基準（昭和26年運輸省令第67号）に定める緊急自動車の基準及びその他関係法令等に適合し、緊急自動車として承認が得られるものであること。
- 3 この救急車は、救急活動時に搭載する高度救命処置用資機材及びその他装備等を有効に活用して救命活動を行うことを目的に製作するもので、製作にあたっては振動、衝撃に対して十分緩衝し得る装置を備え、乗り心地、走行安定性が特に良好な構造で、車両装備及び付属品は新規製品を使用し救急活動が迅速に行えるものであること。
- 4 契約にあたっては、本仕様書を了承し、十分熟知のうえ契約するものとし、契約後の疑義の全て、本部の解釈に従うものとする。
- 5 受注者は、車両の製作中、諸般の事由により本仕様書及び承認図に係る変更が生じた場合又は疑義が生じた場合は、本部に連絡のうえ承認又は指示を受け速やかに図面等提出しなければならない。
- 6 本仕様書は概要を示すもので、本仕様書に記載のない事項であっても、救急車の製作にあたり、機能上具備しなければならない事項はこれを充足しなければならない。
- 7 受注者、シャシメーカー及び艤装メーカー等は、常に連絡を密にして艤装中及び完成後に支障のないようにする。
- 8 完成車は、陸運局長が行う新規検査登録に合格するものであること。
- 9 受注者は契約後艤装の仕様について打合せを行い、1週間以内に本部へ確認書を提出すること。
- 10 受注者は前項の確認書提出後、3週間以内に次の図書各3部を本部へ提出し承認を受けること。
 - (1) 車体艤装図（前後、左右、上面の5面図）
 - (2) 内装図（インパネ図、室内配置図等）
 - (3) 電気配線系統図
 - (4) 消費電力一覧表
 - (5) 製作工程表
 - (6) 塗装工程表
 - (7) その他本部が指示するもの。
- 11 緊急自動車届出
緊急自動車届出の手続きは全て受注者が行うとともに、その費用は本仕様書に含むものとする。
- 12 完成車の納入時に次の完成図書（目次をつけファイルに製本したもの）を本部に2部提出すること。
 - (1) 完成図（前面、後面、左面、右面、上面の5面図）

- (2) 自動車検査証及び自賠責保険証明書の写し
 - (3) 保証書の写し
 - (4) 車両及び各種装備品等の仕様書、取扱説明書
 - (5) 設備とその配置又は設置場所を明示する写真
 - (6) 工程写真（シャシ入荷から完成までの工程毎）
 - (7) 完成車両5面写真
 - (8) 緊急自動車届出確認書の写し
 - (9) その他本部が指示するもの
- 13 救急車の製作工程に合わせて、中間検査、完成検査、納入検収を実施すること。
- (1) 中間検査
 - ア 受注者は、取付品及び装置等が仮設置できた時点で本部の次の検査を受けること。また、検査を受ける30日前までに検査日時及び実施場所等の検査依頼書を本部に提出し承認を得ること。中間検査時の指摘事項及び確認事項等は全て記録し本部に文書で報告するとともに指摘事項等に対し双方の解釈の相違がないようにすること。
 - イ 艤装検査（組立、板金、溶接等の状況）
 - ウ 寸法検査
 - エ 装備品等の取付状況
 - オ その他必要と認める事項
 - (2) 完成検査
 - ア 車両納入時に次の検査を実施し、本部が不適合と認めた箇所については、直ちに修復、改善のうえ、再検査を受けるものとする。また、完成検査時の指摘事項及び確認事項等は全て記録し、本部に文書で報告するとともに指摘事項等に対し双方の解釈の相違がないようにすること。
 - イ 艤装全般検査（塗装等の仕上がり状況）
 - ウ 装備品及び装置、取付品並びに付属品の検査（性能、規格、員数検査）
 - エ 走行試験
 - オ その他必要と認める事項
 - (3) 納入検収
 - 本仕様書及び承認図に基づき、総合的な検査を実施する。また、上記の検査結果で設計製作上、故障や性能低下及び不良品等が発生した場合は早急に対策を講じること。
- 14 技術指導
- 車両納車時及び納車後、受注者は技術指導員を本部の指定する日時、場所に派遣し、車両及び各種機器並びに装置等の取扱指導を実施すること。
- 15 保証期間
- 保証期間は完成検査合格日より1年間とする。また、部品によってはメーカー保証期間に残存期間がある場合は、その期間保証するものとする。ただし、材料不良、設計不良及び工作不良に起因する不具合が発生した場合は、無償で部品の交換又は修理を行うものとする。

16 その他の費用

- (1) 完成車の登録手続、車検回送及び納車完了までの費用及び資機材を含むその他の登録・申請費用は本仕様に含むものとするが、自賠責保険料、自動車重量税及びリサイクル法関連費用は除くものとする。
- (2) 消防専用電話装置の手続きは受注者が行い、救急車へ移設に要する費用は、本仕様に含むものとする。
- (3) 車両動態管理端末装置(AVM)の移設に要する費用は本仕様に含むものとする。
- (4) その他、納入等に係る費用は、本仕様に含むものとする。

17 台数及び納入期限等

台数、納入期限及び納入場所は、次に掲げるとおりとする。

- (1) 台数 1台
- (2) 納入期限 令和5年1月31日(火)
- (3) 納入場所 三島市南田町4番40号 富士山南東消防本部
- (4) 配備場所 裾野市須山1545番地の8 裾野消防署須山分遣所

18 その他

廃車手続きについて、当本部が指示する車両1台を廃車処分し、抹消登録(車体の名称の削除、サイレン、アンプ等の取外し)は受注者が行い、抹消登録の原本を当本部に提出すること。併せて、自賠責保険料の解約返戻金及び自動車重量税の還付金を本部へ返戻するよう速やかに手続すること。

第1 主要諸元

1 車両の主要諸元は次による。

- (1) 使用燃料 無鉛レギュラーガソリン
- (2) 最高出力 115kw以上
- (3) 変速機 電子制御式6速オートマチック
- (4) 駆動方式 4輪駆動(フルタイム)
- (5) 空調装置 フロントエアコン・リヤクーラー・ビルトインタイプリヤヒーター
- (6) 安全装備 被害軽減ブレーキ・車線はみ出しアラート・自動ハイビーム等
- (7) 仕様 寒冷地仕様

2 艤装及び装備について、この仕様書に記載していないものについては、令和4年度各メーカーが公表した標準装備とする。

第2 艤装及び装備品、取付け品

車体の構造は堅牢かつ耐久性に富み、取付け品については走行中の振動等による離脱、脱落、ゆるみ等を生じないように、また雑音は可能な限り発生しないよう取付けること。

1 車両装備

- (1) 車体は、全有蓋密閉型とし、出入口は運転席及び助手席にドア、左右側面にスライド式ドア、後部に跳ね上げ式の傷病者搬入口ドアのある構造とすること。なお、後部ドアはストレッチャーによる搬入が容易に行なわれる構造にすること。
- (2) フロントタイヤハウス上部にすべり止めテープを取付けること。

- (3) フロントドアステップにアルミ縞板及びすべり止めテープを取付けること。
- (4) サイドドアステップにアルミ縞板及びすべり止めテープを取付けること。
- (5) リヤバンパーにプロテクター（ステンレス製）及びすべり止めテープを取付けること。
- (6) レスキューツール4点をバックに収納し積載すること。
- (7) スライドドア上方ルーフサイド左右にサイドフラッシャーランプを取付けること。
- (8) フロントバンパーにフロントコーナーセンサーを取付け、スイッチ及び状態表示及びブザーを運転席付近に取付けること。
- (9) ルーフサイドにLED作業灯を左右各2灯(大阪サイレンLIA-200)、インパネ中央スイッチパネルにON/OFFスイッチを取付けること。
- (10) 左右後輪の前側にLED路肩灯、インパネ中央スイッチパネルにスモールランプと連動で、更にメインスイッチを取付けること。
- (11) 左窓の全面に下方から2/3くもりフィルムを貼り付けること。
- (12) 右全面及び後面窓ガラスにくもりフィルムを貼り付け、後面窓ガラスのドライブレコーダー部分は切抜くこと。
- (13) 車両中央部に設置してあるメーカーエンブレムを外すとともに同位置に消防章（直径150mm、樹脂製）を、台座付（白色）で取付けること。
- (14) 左右フロントドアにサイドバイザーを取付けること。
- (15) 左ドアミラー上部に助手席アウトサイドミラーを取付けること。
- (16) 誤発進防止装置を取付けること。
- (17) Rレンジに連動した音声合成装置を設置しハンドル左下部分にメインスイッチを取付けること。
- (18) 前照灯のロービームはLED式とし、オートレベリング機能を有すること。
- (19) ACCと連動するLEDデイトタイムライト（青色）をグリル付近に取付けること。
- (20) 運転席後部の縦型収納庫は飛沫感染防止対策用の隔壁扉と併用し、扉には小窓を取付け、機材落下防止の布を取付けること。

2 警告装備

- (1) フロントグリルにLED赤色灯(大阪サイレンLFA-150)2個を取付けること。
- (2) 左右リヤルーフサイド下方にLED赤色点滅灯（大阪サイレン製LFA-160〔後側面〕）を取付けること。
- (3) フロントバンパーの左内側にモーターサイレン(大阪サイレン製5SA型)、プッシュスイッチをハンドル右側インパネ部に取付けること。
- (4) 助手席下部にモーターサイレン用足踏みスイッチを取付けること。
- (5) 大阪サイレン製サイレンアンプOPS-D151Q（音声合成、住宅モード付）を取付けること。
- (6) 運転席ドア上部にフレキシブルマイクロホン(UD-200)、インパネ右側部にスイッチを取付けること。

- (7) 右左折メッセージ用メインスイッチをインパネ右側部に取付けること。
- (8) メーター左に直進音声メッセージ用スイッチを取付けること。
- (9) メーター左に交差点音声メッセージ用スイッチを取付けること。
- (10) フロント及びリヤの大型散光式警光灯は、緊急走行中にウー音スイッチや音声合成スイッチ、またパーキングブレーキと連動するなど活動状況に応じて発光パターンが自動的に変化する機能とすること。強制的にハイパーモードに切り替わるスイッチをインパネ中央部に取付けること。

3 運転室内装備

- (1) メーカー純正のカーナビゲーションシステム(PVMモニター付き)を取付けること。
- (2) 運転席右側下部インパネ部にETC車載器2.0ユニットボイス・ナビ連動タイプを取付けること。
- (3) カーナビ上部に電流計、電圧計を取付けること。
- (4) 前方と後方を記録(常時録画機能付き)できるドライブレコーダーを取付けること。
- (5) 助手席から傷病者室内を確認するため助手席用インナーミラーを取付けること。
- (6) 運転席及び助手席中央部に地図入れ(A3サイズ、蓋無し)を取付けること。
- (7) 運転席後部に地図入れ(A3サイズ)を取付けること。
- (8) 運転席及び助手席後部にC型バネ付きフック3個取付けること。
- (9) 車両後方カメラの映像をインナーミラー内のディスプレイに表示させるデジタルインナーミラーを取付けること。

4 収納用装備

- (1) 縦型収納庫内上部に棚板1段と高さ調整可能な棚板2段を設け、内側後面に固定ベルトを3本取付けること。
- (2) 酸素ボンベ収納庫上部壁面前側にティッシュ/グローブBOXを取付けること。
- (3) 助手席後部のパーティションボードに1段収納庫を取り付け、棚板1段を設けること。ルーカス固定ベルト及び手指消毒薬収納箱を取付けること。
- (4) 酸素ボンベ収納庫上部前面に3段収納庫を取付け、下段に半自動除細動器(TEC-2600シリーズ)のプリンターを取付けること。
- (5) 酸素ボンベ収納庫上部にレールを取付けること。
- (6) 傷病者室右側中央部に患者回路(蛇管)等収納庫を取付けること。
- (7) 傷病者室右側前方にルーフサイド収納庫(施錠装置付)を取付けること。
- (8) 傷病者室右側後方にルーフサイド収納庫を取付けること。
- (9) 傷病者室左側前方にルーフサイド収納庫を取付けること。
- (10) 傷病者室左側後部にルーフサイド収納庫を取付けること。
- (11) 傷病者室右側後方部に右後収納庫Aを取付けること。
- (12) 傷病者室内右前(後向き席左手脇)酸素ボンベ収納庫に書類入れ用改造を施すこと。
- (13) マグネット式ティッシュ/グローブBOX3個を設けること。

(14) 傷病者室天井部の左前後にロングタイプのルーフネットを取付けること。

5 その他・傷病者室内装備

- (1) 着脱式ホワイトボード（A4）、ペン立てを設けること。
- (2) 右側窓上レールにC型バネ付フック3個を取付けること。
- (3) 傷病者室右側前方ルーフサイド収納庫部にアシストグリップ（右前）を取付けること。
- (4) 傷病者室右側後方ルーフサイド収納庫部にアシストグリップ（右後）を取付けること。
- (5) バックドア開口部左側グリップを長タイプ（上部グリップのみ）に変更すること。
- (6) 傷病者室天井のLED室内灯は調光器付とすること。
- (7) 右窓上レールにデジタル式電波時計を取付けること。
- (8) 右側窓上レールにウォール型アナロイド血圧計を固定する金具を取付けること。
- (9) 隊員席にバックボード固定補助ベルトを取付けること。
- (10) 換気扇フィルターカバー部に脱着可能な換気扇フィルターを取付け、交換用フィルターを設けること。
- (11) 床面にシーリングを施すこと。

6 搬送用装備

- (1) 防振機能付ベッドは次の機能を有するものとする。
 - ア CPRロック機能付き。
 - イ 左右にスライドできる機能。
 - ウ エアーコンプレッサーを内蔵し、加速度による振動を十分吸収できる機能を有すること。
 - エ ストレッチャーの固定装置は、確実に固定でき、走行中の振動により移動を生じないものとする。
- (2) ストレッチャー（スカッドメイト#9304）に左右アームプレート+左右リリースリングを搭載すること。
- (3) ストレッチャーにガートル架キット(#9304用ガートル架×1、ガートル架マウント×2、収納ポケット付きサイドアームカバー×1)を搭載すること。
- (4) スカッドメイト取付用防振ベッドに改造すること。
- (5) 反転スロープ、搬入ガイドを取付けること。
- (6) 窓下側面収納庫の内部にスクープストレッチャー65EXLとバックボード固定装置を取付けること。
- (7) バイオセーフストラップ2ピースタイプを取付けること。

7 気道確保用装備

- (1) 酸素ボンベ収納庫上のレール後方に吸引器（LSU4000）固定装置を取り付けること。AC電源コード付ウォールブラケットは支給品とする。
- (2) 標準ごみ箱設置部に吸引カテーテル保持パイプを取付けること。

8 酸素吸入装置

- (1) 右スライドドア側には酸素ボンベ9.4ℓ型2本を固定できるよう受け皿金具、

及び固定バンドを設けること。なお、圧力計付減圧弁から各配管し三方チーズを介し、加湿流量計付酸素吸入装置まで確実に取付けること。

- (2) 加湿流量計オキシパックOX-ⅢS(ジュンロン2口ヨークバルブ仕様)〈支給品〉を取付けること。
- (3) 右棚上部、モニター下部に人工呼吸器(パラパックプラス300)固定装置を取付けること。

9 心電図モニター

右棚上部に心電図モニター(BSM-3562)固定装置(低台座)を取付けること。

10 除細動用装置

右棚上部に半自動除細動器(TEC-2600シリーズ)を直付け仕様で取付けること。

11 輸液用装備

- (1) 天井後側に輸液ビンホルダーを取付けること。
- (2) 天井後部にC型バネ付フック5個を取付けること。
- (3) 右棚上部に汎用メディカルポールを取付けること。

12 電装

- (1) 右窓中央部にインバーターAC100Vコンセント2口を取付けること。
- (2) 縦型収納庫後面にインバーターAC100Vコンセント2口を取付けること。
- (3) 全自動電子バッテリー管理器を取付けること。
- (4) 署内待機中に外部商用AC100V電源により、携帯電話コンセント、室内蛍光灯、医療機器コンセント、生態情報モニターを使用できるようにすること。
- (5) AC100V電源入力を走行中はインバーターから、署内待機中は外部電源から自動で切替えられるようにすること。
- (6) 助手席中央下部にUSBコネクタを設けること。

13 通信用装備

- (1) 前後デジタル無線アンテナから助手席後部に無線アンテナ点検口2ヶ所増設し同軸ケーブル5D2Vを敷設すること。
- (2) 運転室内右側天井部に無線モニター用スピーカーを取付けること。
- (3) 無線子機用6芯1本通線(左)を取付けること。
- (4) 傷病者室内前方左側天井部分に無線モニター用スピーカーを取付けること。
- (5) AVMディスプレイとデジタル無線受話器を取付けるため、AVMモニター用台Ⅱ型(地図入れ付)を設置すること。
- (6) 助手席後部にAVM用DC12V電源端子を取付けること。

14 資機材

- (1) フロアマットを搭載すること。
- (2) ゴム製チェーン(イエティスノーネット#5300WD195タイヤ用)を搭載すること。
- (3) 三角停止表示板を搭載すること。

第3 消防専用電話装置・AVM（車両動態管理端末装置関係）

1 消防専用電話装置・AVM


- (1) 消防専用電話装置及びAVMの取付け等に係る必要な事項については、別に指定する設置業者と十分な打ち合わせをすること。
- (2) 受注者において行う工事は、「第3 艀装及び装備品、取付品 13 通信用装備」までとし、それ以降の工事は別に指定する設置業者に行わせること。
- (3) デジタル無線機本体、車両動態管理端末装置（AVM）及びGPSアンテナを既存車両より取外し、取付けること。
- (4) アンテナ等必要部材及び必要配線は新規購入とし、本部が指定するものを取付けること。
- (5) 消防無線、AVM移設確認表、無線試験表及び作業写真を提出すること。

2 装備品・取付品・付属品

装備品、取付品及び付属品の一覧は、別表1及び別表2による。

第4 塗装等

- 1 塗装は、上質の白色焼付け塗装とし、車外窓わく下部に再帰性反射材カッティングシールによる赤色ライン（幅76mm）を、前後部及び両側面に横一線の帯状に入れること。前部は、反射しないラインとすること。
- 2 文字の記入は、反射材（再帰反射材に満たないもの）カッティングシールを使用し、下記のとおりとし、大きさ字体及び色は別途協議する。

記入する文字	記入する場所	文字色	書体
富士山南東消防本部	両サイド赤ライン下 バックドア赤ライン下	青色	丸ゴシック
Mt.FUJI Southeast FIRE DEPARTMENT	バックドア下部	青地白抜き	Haettenschweiler
裾野5	バックドア右上 前部助手席側	青色	丸ゴシック
裾野5	左右リヤルーフ	青色	丸ゴシック
裾野5	屋根部	黒色	角ゴシック
EMS	左右ルーフサイド バックドア上部	銀 青囲み	Verdana
	左右スライドドア部 バックドア上部	青色	

Mt.FUJI Southeast F.D. FIRE RESCUE EMS	前部運転席側	青色 シルバー	Impact 斜体
---	--------	------------	--------------

※ 別図 文字入れ配置図参照

- 3 標準の車両メーカーエンブレムは取外すこと。
- 4 標準のルーフサイドの車名及びシンボルマークは取外すこと。

第5 補足

- 1 この仕様に疑義ある場合及び、施工上仕様を変更する必要がある時は、事前に本部の指示を受けること。
- 2 本部が指示した事項は、この仕様書の追補とする。
- 3 納入車両が決定しだい詳細（協議内容）は車両にあわせて変更するものとする。
- 4 契約締結後、本仕様書に記載の付属品等に新製品等が発表され、変更を余儀なくされる場合は消防本部と協議し承認を得ること。また、新製品等が本仕様書の付属品等と比較して機能・性能等が向上した場合は消防本部と協議すること。
- 5 車両に積載及び装備する医療用具等は、車両を納入する直前に医療用具等の取付け及び接続を確実にしたうえで、車両に搭載し速やかに納入すること。
- 6 車両に関して、担当課了承の場合は同等品以上を可能とする。

以下余白

別表 1

No.	品名	数量
1 車両装備		
1	左右フロントタイヤハウス上部 すべり止めテープタイプC	一式
2	左右フロントドアステップ アルミ縞板	一式
3	左右フロントドアステップ すべり止めテープタイプA	一式
4	左サイドステップ アルミ縞板	一式
5	左サイドステップ すべり止めテープタイプA	一式
6	リヤバンパープロテクター (ステンレス製)	一式
7	リヤステップ すべり止めテープタイプA	一式
8	レスキューツール4点 (バック収納)	一式
9	サイドフラッシャーランプ	一式
10	フロントコーナーセンサー (スイッチインジケータ付) (C-4)	一式
11	ルーフサイド LED作業灯 大阪サイレン製 LIA-200 スイッチ (A-6、A-7)	一式
12	LED路肩灯 (メインスイッチ付) (A-5)	一式
13	左下2/3くもりフィルム	一式
14	後面窓ガラス全面くもりフィルム、一部ドライブレコーダー部分切抜	一式
15	右側窓ガラス 全面くもりフィルム	一式
16	左右フロントドアサイドバイザー	一式
17	助手席アウトサイドミラー	一式
18	フロント消防マーク 直径 150mm 樹脂製	一式
19	誤発進防止装置	一式
20	再帰性に富んだ反射材 (赤帯)	一式
21	音声合成装置[バック](メインスイッチ付)	一式
22	隔壁扉Ⅱ型	一式
2 警告灯		
1	フロントLED赤色灯 大阪サイレン LFA-150 2灯	一式
2	LED赤色灯 大阪サイレン LFA-160(後左右側面)	一式
3	モーターサイレン 大阪サイレン 5SA型 スイッチ (C-1)	一式
4	モーターサイレン用足踏みスイッチ	一式
5	サイレンアンプ大阪サイレン製 OPS-D151Q	一式
6	フレキシブルマイク 大阪サイレン製 UD-200 (C-2)	一式
7	左右折メッセージ用メインスイッチ (A-8)	一式

8	直進音声メッセージ用スイッチ 1ch 取付け (A-11)	一式
9	交差点音声メッセージ用スイッチ 2ch 取付け (A-12)	一式
10	アクティブイーコン スイッチ (A-3)	一式
3 運転室内装備		
1	純正 T-Connect ナビ (バックガイドモニター付) イルミカットスイッチ (A-10)	一式
2	E T C 2.0 ユニットボイス・ナビ連動タイプ (ITS スポット対応)	一式
3	電流計・電圧計	一式
4	前後2カメドライブレコーダー	一式
5	助手席用インナーミラー	一式
6	デジタルインナーミラー	一式
7	運転席及び助手席中央地図入れ (A3、蓋無し)	一式
8	運転席後部地図入れ (A3 サイズ)	一式
4 収納関係		
1	C型バネ付フック 3個 (パーティションボード対応)	一式
2	助手席後部 1段収納庫 (棚板1段) +パーティションボード+ルーカス固定ベルト付き+手指消毒薬収納庫	一式
3	縦型収納庫内部 上部に棚板1段+高さ調節可能な棚板2段+固定ベルト3本取付 (後面)	一式
4	プリンターWS-261Vボンベ庫上3段収納庫 (前側)	一式
5	酸素ボンベ庫上部壁 (前側) ティッシュ/グローブボックス	一式
6	患者回路 (蛇管) 等収納庫	一式
7	ルーフサイド収納庫 右前 (施錠装置付)	一式
8	ルーフサイド収納庫 右後	一式
9	ルーフサイド収納庫 左前	一式
10	ルーフサイド収納庫 左後	一式
11	右後収納庫A	一式
12	書類入れ用改造 (酸素ボンベ収納庫部)	一式
13	マグネット式ティッシュ/グローブボックス	三式
5 その他・傷病者室内装備		
1	A4 ホワイトボード (着脱式) +ペン立て	一式
2	ルーフサイド収納庫部 アシストグリップ (右前)	一式
3	ルーフサイド収納庫部 アシストグリップ (右後)	一式
4	バックドア左 (長タイプ) 上部グリップのみ	一式

5	LED室内灯調光機能付	一式
6	電波時計（デジタル）右窓上	一式
7	右窓上レール C型バネ付フック 3個	一式
8	右窓上レール ウォール型アネロイド血圧計固定金具	一式
9	ルーフ左前後ルーフネットロングタイプ	一式
10	バックボード固定補助ベルト	一式
11	換気扇フィルター+交換用フィルター	一式
12	床面シーリング施工	一式
6 搬送用装備		
1	メインストレッチャー スカッドメイトモデル 9304	一式
2	スイング架台(スカッドメイト) 反転スロープ・搬入ガイド付き	一式
3	バイオセーフストラップ2ピースメタルバックルタイプ	一式
4	サイドアームプレート#160-1 #9304用左右 リリースリンケージシステム付	一式
5	新型ガートル架キット	一式
6	スクープ#65EXL、バックボード、固定装置	一式
7 気道確保用装備		
1	酸素ボンベ収納庫上 吸引器（レールダルLSU4000）固定装置取付け	一式
2	標準ごみ箱設置部 吸引カテーテル保持パイプ取付け	一式
8 酸素吸入装置		
1	酸素ボンベ9.4L×2本受け皿金具、固定バンド	一式
2	オキシパックOX-ⅢSヨークバルブ仕様（支給品）取付け	一式
3	右棚上部、モニター下部、人工呼吸器（パラパックプラス300）固定 装置取付け	一式
9 心電図モニター		
1	心電図モニターBSM-3562（低台座）用	一式
10 除細動用装備		
1	TEC-2600シリーズ（直付け）	一式
11 輸液用装備		
1	輸液ビンホルダー（2本取付：後）	一式
2	天井部 C型バネ付フック 5個	一式
3	右棚上 汎用メディカルポール	一式
12 電装		

1	右窓下 インバーター用AC100Vコンセント2口	一式
2	縦型収納庫後部 インバーター用AC100Vコンセント2口 蓋無し仕様	一式
3	全自動電子バッテリー管理器SA-12PK	一式
4	DC12V電源自動切替改造	一式
5	AC100V電源自動切替改造	一式
6	助手席中央下部 USBコネクター1口	一式
13 通信用装備		
1	無線アンテナ点検口2ヵ所増設2本通線 アンテナ前後～P席後部	一式
2	傷病者室内無線モニター用スピーカー(左)	一式
3	無線子機用6芯線通線(左)	一式
4	運転室内無線モニター用スピーカー(右)	一式
5	AVMモニター端末+無線送受信器 モニター用台II型	一式
6	助手席後部 AVM等用電源端子	一式
14 資機材		
1	フロアマット	一式
2	ゴム製チェーン イエティスノーネット#5300WD	一式
3	三角停止表示板	一式

別表2

No.	品名	数量
1	寒冷地仕様	一式
2	LEDヘッドランプ(ロービーム)	一式
3	LEDデイタイムライト	一式
4	ナンバーフレーム前後	一式
5	スタッドレスタイヤ(純正ホイール含む)5本	一式
6	インバーター 300W	一式
7	文字記入	一式
8	無線・AVM移設	一式